

② 国際化講演会

「世界を知る講演会」と題し、国際交流・国際協力の第一線で活躍する方や現地で地道に活躍する方を講師招へいし、地域国際化の深化並びに地域活性化のヒントを得るために実施する。

(1年遅れとなったが、滝川国際交流協会創立30周年を記念講演として企画する)

<11月下旬(予定) 於:滝川市内>

③ 国際理解茶話会

JICA青年海外協力隊並びにシニア海外ボランティア募集説明会等で来滝する方々、地域在住外国人などから様々な体験談を伺う交流会を企画し、国際交流や国際協力への理解を深める。

④ ボランティア日本語教師、ボランティア通訳及び事業企画運営ボランティア登録・派遣

日本語に不自由を感じている外国人に、日本語を学びながら習慣・文化等を学ぶ機会を提供する他、滝川を訪れる外国人の買い物・飲食等を含めた日常生活の支援、各種懇親会等で円滑にコミュニケーションを図るためのボランティア通訳等の登録・派遣を行う。

⑤ ホストファミリー登録・斡旋

滝川を訪れる外国人に日本の文化・伝統を知ってもらおうと共に、家庭の雰囲気味わってもらうことを目的として、外国人の受入が可能なホストファミリーの登録・斡旋を行う。

⑥ インターンシップ生受入

インターンシップ生を受け入れ、協会業務に携わってもらうことで、国際社会に貢献し、地域の将来を担う人材育成に寄与する。また、地域に根差した協会の実現を図る一助とする。

⑦ 多文化共生社会への取り組み

地域における多文化共生社会を推進させるため、外国人人材と住民交流の実践を検討する。

⑧ SDGs推進への活動

協会事業とSDGsの関わりを積極的に広報し、SDGsの推進に協力する。

⑨ ブルックライン高校との交流活動

令和2年度2月から実施中の滝川西高校とブルックライン高校とのビデオによる交流を継続実施する。日程を調整してオンラインでの交流を実施する。

【支援事業】

① 国際理解教育支援事業

・地域在住外国人等の教育現場への派遣依頼

学校等の要請により国際理解教育支援のために地域在住外国人等を学校現場に随時派遣する。

・国際理解教育等関連資料の貸し出し

学校教育等に必要となる各種資料を随時貸し出す。

・地域高等教育機関等との連携による国際理解教育の推進

國學院大學北海道短期大学部、一般社団法人中空知地域職業訓練センター協会等の高等教育機関や地域のサークル等と連携して、地域における国際理解教育を推進し、国際交流・国際協力の裾野を広げることで、世界で通用する人材を育成する。

② 外国語表示等作成支援事業

地域に根差した国際化を推進し、生活に必要な各種ちらし等を紹介し多言語化を支援する。

II その他事業

I. 国際理解事業

① TIEA語学教室

<春・夏（4月～9月）、秋・冬（10月～3月）

於：街なかひろば く・る・る、たきかわ観光国際スクエア>

【1期＝1回50分（ア：1回25分 オ：1回30分）×15回】

ア 韓国語基礎（月曜日：10名）

イ 韓国語初級（月曜日：10名）

ウ 韓国語中級（月曜日：10名）

エ 韓国語上級（月曜日：10名）

オ キッズイングリッシュ（小学1・2年生）（火曜日：8名）

カ キッズイングリッシュ（小学3・4年生）（火曜日：10名）

キ キッズイングリッシュ（小学5・6年生）（火曜日：10名）

ク 英会話初級（火曜日：10名）

ケ 英会話中級（木曜日：10名）

コ 英会話上級（水曜日：10名）

② 2021年度「実用英語技能検定」試験実施事業

公益財団法人日本英語検定協会が年3回（各回とも1次試験、2次試験）実施する「実用英語技能検定試験」を受託し、実施する。

実施日：第1回 1次：5月30日（日）2次：6月27日（日）、7月4日（日）

第2回 1次：10月10日（日）2次：11月7日（日）、11月14日（日）

第3回 1次：1月23日（日）2次：2月20日（日）、2月27日（日）

③ 地域日本語教育スタートアッププログラム事業

文化庁が実施する「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業「地域日本語教育スタートアッププログラム」に応募し、採択された。昨年度実施した国際化講演会を受けて、地域の実態把握を行い、次年度から日本語教育がスタートできる準備を実施する。

2. 調査・研究事業

① 自治体職員協力交流事業（LGOTP）

<7月2日（金）～11月14日（日） 於：滝川市内外>

滝川市が一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）のLGOTPを活用して実施する、モンゴル国建設技術研修員受入事業を受託、実施する。受入予定人数：4名

（時期未定）歓迎会・最終報告会並びに送別会 於：未定

② JICA草の根技術協力事業（草の根パートナー型）

「新ブランド作物（玉ねぎ）による農家の収入向上～フードバリューチェーン構築～」

<通年 於：滝川市内外、モンゴル国>

現時点では渡航できない状況が続いているため、遠隔指導を実施する。専門家や関係機関と連携を図りながら、進めている。渡航が可能になった段階で、専門家も含めてモンゴル国トゥブ県ジャルガラント村にて直接指導を実施する。

③ 協会ニュース「TIEA'S ROOM」

会員へより充実した情報提供を図るため年4回会報を発行する。

④ 翻訳援助

会員が英語の文書等で困難を感じている時に簡単な翻訳支援を行う。

⑤ 国際交流・国際協力に関する情報提供

当協会が保有している国際交流・国際協力に関する書籍・雑誌等を会員に貸し出す。

Ⅲ 法人会計

1. 滝川国際交流協会創立30周年事業

- ① 滝川国際交流協会創立30周年を祝う会 <10月下旬から11月中旬(予定) 於:滝川市内>
長年に渡り、当協会受託の研修コースで講師をお務めいただいた方や、事業実施に当たりボランティアを続けてくださった方へ感謝状を贈呈する。

2. 調査・研究事業

- ① FM G' Sky番組「てい~ずる~む」

地域の国際交流・国際協力等の情報を提供することを目的として、平成13年11月の開局当初からオン・エアしており、本年度で21年目を迎える。市内外在住外国人、国際関係イベント等の情報提供を主体に、会員の出演を促す。観光国際課観光国際系の支援を受けて、協会事業の裾野を拡げる手段の一つとして活用する。 【毎週土曜日11:00~12:00、周波数77.9MHz】

- ② ホームページ

平成11年度に開設して以来、内容が充実している。随時最新情報を提供し、有益な情報を会員等に提供するように利活用に努める。また、スマホ版の作成を検討する。さらに、当協会を応援して下さっているボランティア皆様を中心となり立ち上げた、Facebookページ「TIEA Friends」(平成26年度開設)を情報発信ツールとして活用する。

HPアドレス <http://www.msknet.ne.jp/~tiea/index.html>

3. 組織の強化並びに会員の加入促進

- ① 事務局組織の整備

効率的な事務処理並びに、コロナ禍及びポストコロナ時代における事業に対応しつつ会員の協会事業への積極的な参加を目指して、事務局機能の充実を図る。

- ② 地域住民と協働した組織体制の確立

通訳ボランティアや日本語ボランティア、イベントボランティア、ホストファミリー等の組織化を図り、地域住民を主体とした事業展開ができる体制を確立する。

- ③ 会員対象事業の充実

会員を対象とした事業を実施することにより国際化の深化を図り、個人会員加入を促進する。また、企業・団体、周辺自治体等と当協会事業の周知、連携を図り、より一層団体会員の増強を図る。

令和3年度（2021年度）事業計画

<推進目標>

1. コロナ禍、及びポストコロナ時代における国際交流や国際協力、国際理解のあり方を検討し、実践する。
2. 姉妹都市交流をはじめ、諸外国との交流・協力事業を積極的に推進し、世界と結びついた多文化共生社会や、SDGsを意識し、持続可能な社会の実現を支援する。
3. 多様な事業を通して、グローバル社会に柔軟に対応できる人材を育成し、地域活性化に貢献する。
4. 法人の自立を図るため、より一層の会員加入促進に努め、体制整備を図る。

昨年、創立30周年を迎えることができた。コロナ禍にあり、周年記念行事等の実施ができなかったため、今年度内の実施を模索する。事務局体制の安定化を図り、事業の見直しや支援のあり方を整理する。

I 継続事業

1. 国際交流事業

- ① 国際交流のタベ「やさしい日本語講座」 <5月27日（水） 於：ホテル三浦華園>
多文化共生社会におけるコミュニケーションの課題の一つとして語学があげられているため、「やさしい日本語講座」を開催し、外国人と日本語で交流するときに必要な配慮や言葉の使い方を知り、国際交流・国際協力への理解をより一層深める本会を開催することで、市民活動の裾野を広げ、地域活性化に資する。
(参加予定人数：40名)
※コロナ禍での開催のため、ZOOMによる参加も可能になるような講座とする。
 - ② 第20回たきかわ紙袋ランタンフェスティバル紙袋ランタン制作体験ワークショップ
<2022年2月 於：滝川市内>
フェスティバル当日のランタン制作体験ワークショップは、毎年好評を博していることから、市内在住外国人の支援を得て、多文化共生の一助となるよう実施する。
 - ③ 地域活性化のための外国人受入事業 <随時 於：滝川市内他>
滝川市及び周辺自治体で実施される様々なイベントに市内在住外国人の参加を募り、多文化共生を推し進め、地域活性化に資する。
- ※ 第30回ジュニア大使訪問団派遣事業については、ロングメドー高校から、海外との交流事業の再開を1年間見送るとの連絡を受けたため、今年度も中止とする。姉妹都市交流については、交流の灯を途絶えさせない取り組みを計画する。

【支援事業】

- ① 第11回たきかわ納涼盆踊り大会支援事業 <8月上旬 於：未定>
滝川市CIRを中心に、市内在住外国人チームを結成し、国際色豊かな盆踊り大会となるよう支援する。
- ② インターナショナルファンデー <9月下旬 於：未定>
滝川市CIRの企画により、季節に合わせた世界各国のゲーム等を実施する。
(参加予定人数：50名)
- ③ 短期留学生派遣支援事業
・滝川西高校の交流校であるスウェーデン王国ヴィトフェルスカ高校への短期留学生を支援する。

平成29年度開始以来、本年度で4回目を迎える。(派遣予定人数：2名)

<12月上旬(予定) 於：スウェーデン王国ヨーテボリ市>

- ④ 短期留学生受入支援事業 <10月下旬 於：滝川市内>
・滝川西高校の交流校であるヴィトフェルスカ高校から短期留学生の受入を支援する。授業参加・ホームステイ・地域交流等により、異文化理解を深める(受入予定人数：4名)
- ⑤ 国際交流支援事業
・滝川西高校が実施するスカンジナビアニッポン・ササカワ財団からの事業について支援する。
- ⑥ 滝川市国際交流イベント支援事業 <随時 於：滝川市内外>
ハロウィンやWinter Fun Day、料理教室、ベトナム人との交流会など滝川市が行う国際交流事業を支援する。

2. 国際協力事業

- ① JICA課題別研修「小規模農家のためのアグリビジネス振興(B)」コース研修員受入事業
<5月中旬～ 於：滝川市内外>
2020年度受入研修員：フランス語圏アフリカ6カ国6名
(ブルキナファソ、チャド共和国、ギニア共和国、コンゴ民主共和国、マリ共和国、ニジェール共和国)
2021年度受入研修員：フランス語圏アフリカ10名を予定
昨年度末に、遠隔講義用の教材を作成したが、5月連休明けから、2020年度・2021年度受入研修員合同で、遠隔による講座配信及びオンライン等での研修を実施する。また、オリンピック終了後に来日研修の条件がそろった段階で、2班に研修時期を分けて受け入れる。農業及びこれに関連した農産物の市場、流通、農産品加工等幅広い知識を身に付けるため、市内外での研修を実施する。
(時期未定) アクションプラン発表会並びに送別会 於：滝川市内
- ② JICAモザンビーク国別研修「農業技術促進を通じた農村開発セミナー」コース研修員受入事業
<時期未定 於：滝川市内外>
予算面は確保されているので、研修する条件がそろった段階で受け入れる。JICAとしては、課題別研修の優先順位が高いため、来日できない可能性が高いが、その場合は遠隔教材の準備を実施する。
滝川市内外の農業関係機関の視察や農業者による技能実習指導を通して農業技術向上を図る。
受入予定人数：10名
(時期未定) アクションプラン発表会並びに送別会 於：滝川市内
- ③ 身近なものによる国際協力
古切手、書き損じはがきを収集し、開発途上国の教育・保健医療等の活動支援に役立てる。
- ④ NGO等支援事業
「北海道NGOネットワーク協議会」や、マラウイ共和国等を視察した市民から成る「滝川マラウイクラブ」、アフリカ・ケニア共和国を支援している「山口ケニアを知る会」等、開発途上国を支援しているNGO団体等と連携を図り、国際協力活動への支援を行う。

3. 国際理解事業

- ① シンガポールスタディツアー <11月上旬 於：シンガポール共和国>
多民族国家であるシンガポール共和国で様々な民族・宗教の様子を体感し、大きな発展を遂げた同国の現状や多文化共生の過程と実情を知る。大学等や日本から進出している企業等への訪問により、国際的な視野を広め、世界で活躍する人材及び地域の将来を担う人材育成に寄与することを目的として実施する。また、現地での不測の事態に備えて、引率の体制を検討する。(派遣予定人数：高校生6名)